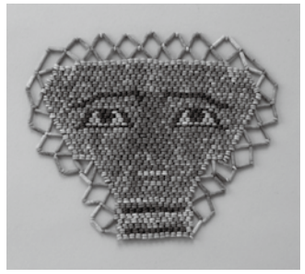
開館40周年記念特別展「ビーズ――つなぐ・かざる・みせる」

飾り玉、数珠玉、トンボ玉などを総称するビーズ。本展示では、私たち人類がつくり出した最高の傑作品の一つとしてビーズをとらえて、つくる楽しみ、飾る楽しみをとおして日本や世界の人びとにとってのビーズの魅力を紹介します。

会期　3月9日(木)～6月6日(火)
会場　特別展示館


ミイラのビーズマスク(エジプト)

■関連イベント

「体験コーナー」(仮)

ダチョウの卵の殻でできたビーズのアクセサリーなどをさわったり、ドングリなどの自然素材をビーズとしてつなげたりしていただけます。詳細が決まり次第、本館ホームページでお知らせします。

日時　特別展会期中
会場　特別展示館2階
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

企画展「津波を越えて生きる――大槌町の奮闘の記録」

将来起こりうる大規模災害に対する備えの必要性を示し、災害を乗り越えて過去から未来へと文化や伝統をつなぐことの意義を考えます。

会期　4月11日(火)まで
会場　本館企画展示場

公開講演会「恵(めぐ)みの水、災(わざわ)いの水―川、湖、海―」

津波、水害、干ばつなどの水にかかわる災害への人の対応について研究や政策実践を行ってきた講演者が、恵みの水、災いの水という視点から、人と水との多様なかかわりかたとこれからの課題を論じます。

日時　3月21日(火)18時30分～20時45分(17時30分開場)
会場　オーバルホール(大阪市北区梅田、定員480名)
講師　竹沢尚一郎(本館 教授)
　　嘉田由紀子(びわこ成蹊スポーツ大学 学長)
主催　国立民族学博物館、毎日新聞社
※要事前申込、参加無料、先着順、手話通訳あり
お問い合わせ先
研究協力課 研究協力係
06・6878・8209

みんぱく春の遠足・校外学習 事前見学&ガイダンス

春の遠足・校外学習にむけて、事前見学に来館される学校団体の先生方を対象としたガイダンスを開催します。

日時　4月4日(火)、6日(木)14時～16時30分
会場　本館第5セミナー室ほか
※参加無料
ホームページから参加申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、FAXにてお送りください。
お申し込み・お問い合わせ先
国立民族学博物館 案内所
電話　06・6878・8341
Fax 06・6878・8441

国際シンポジウム「現代アジアにおけるお盆・中元節・七月の祭り――あの世とこの世をめぐる儀礼」

東アジアに広く見られる7月の死者儀礼は、日本ではお盆として現在も全国的に行われ、最も身近な毎年の行事のひとつです。この7月の儀礼をアジア地域の広範な視野において比較検討します。

日時　3月4日(土)10時～17時30分
　　3月5日(日)9時30分～17時30分
会場　本館第4セミナー室(定員70名)
※要事前申込、参加無料

カレッジシアター「地球探究紀行」

時間　13時～14時30分
会場　あべのハルカス近鉄本店「スペース9」
※要事前申込(参加状況により当日受付あり)、参加費各回1000円
主催　産経新聞社
共催　近鉄文化サロン、スペース9
特別協力　国立民族学博物館、千里文化財団
3月8日(水)
南太平洋の伝統医療とむきあう――マラリア対策の現場から
講師　白川千尋(大阪大学 教授)
3月29日(水)
小さなビーズがつくりだす世界――アフリカ、アジア、そしてアメリカ
講師　池谷和信(本館 教授)
お申し込み・お問い合わせ先
ウェーブ産経カレッジシアター係
06・6633・9087

●みんぱく無料シャトルバスのご案内

大阪モノレール「万博記念公園駅」とみんぱくの間の直通無料送迎バスを特別展「ビーズ――つなぐ・かざる・みせる」の会期中に運行します。

運行日　3月9日(木)～6月6日(火)の土曜・日曜・祝日
運休日　1日11往復、所要時間10分、無料
　　平日、5月13日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日)

※万博記念公園でイベントが開催される場合は臨時に運休することがあります。詳細は本館ホームページをご覧ください。

大阪モノレール
万博記念公園駅発

時	万博記念公園駅→国立民族学博物館
10	06　36
11	06　36
12	46
13	16　46
14	26　56
15	26　56
16	
17	

国立民族学博物館発

時	国立民族学博物館→万博記念公園駅
10	50
11	20
12	30
13	00　30
14	10　40
15	10　40
16	30
17	00

※各イベントについてくわしくはみんぱくホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時(土日祝を除く)です。

みんぱくゼミナール

時間　13時30分～15時(13時開場)
会場　本館講堂
定員　450名(当日先着順)
参加費　無料(展示をご覧になる方は展示観覧券が必要です)

第466回3月18日(土)
人間にとってビーズとは何か?――特別展「ビーズ――つなぐ・かざる・みせる」から
講師　池谷和信(本館 教授)

わずか直径が数ミリのものからつくりだされるビーズの世界。これは、10万年前に生まれて現在では世界中にひろがっています。美しさに秘められた世界各地の人びとの知恵を紹介します。

ナイジェリアのビーズ職人

みんぱくウィークエンド・サロン 研究者と話そう

※申込不要、参加無料(要展示観覧券)
ただし、12日(日)は展示観覧券不要
本館の研究者が「現在取り組んでいる研究」「調査している地域(国)の最新情報」「みんぱくの展示資料」について分かりやすくお話しします。

3月5日(日)14時30分～15時　本館ナビひろば
イスラームとムスリムの関係性
話者　相島葉月(本館 准教授)
3月12日(日)14時～15時　本館ナビひろば
新構築展示のこころとかたち
話者　須藤健一(本館 館長)

●アイヌの伝統的家屋「チセ」の茅の葺き替え作業に伴う本館展示場の一部閉鎖について

アイヌの文化展示場に展示中の伝統的家屋「チセ」の屋根と壁を全面的に葺き替え、3月23日(木)に公開いたします。この作業のため、朝鮮半島の文化、中国地域の文化、中央・北アジア、アイヌの文化及び日本の文化の各展示場を、3月22日(水)まで閉鎖いたします。

●無料観覧日のお知らせ

3月12日(日)は、万博記念公園ふれあいの日のため、本館展示と特別展を無料で観覧いただけます。

●小・中学生の観覧無料化について

4月1日(土)より、中学生以下は観覧料無料となります。

刊行物紹介

■岸上伸啓 著
『文化人類学――人類を探求し、新たな人間観を創出する学問』

風土デザイン研究所
1,800円(税別)

本書は、文化の定義に始まり、文化人類学の視点や調査・研究の方法から家族・親族論や人間どうしが行う贈与・分配、再分配、交換などの行為、また、文化の変化、現代社会における開発行為に対して文化人類学が果たす役割、そして、文化人類学という学問の変貌および将来の展望を解説するとともに、文化人類学全般をコンパクトに紹介する。

友の会

国立民族学博物館友の会　電話 06-6877-8893(9時～17時、土日祝を除く)　FAX 06-6878-3716
http://www.senri-f.or.jp/　E-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

友の会講演会(大阪)

会場　本館第5セミナー室(定員96名)
※当日先着順、会員無料(会員証提示)、一般500円

第465回　4月1日(土)13時30分～14時40分
【特別展「ビーズ――つなぐ・かざる・みせる」関連】
つなぐ・かざる・みせる――ビーズにさぐる人類の多様な営み
講師　池谷和信(本館 教授)
わたしたちの祖先が、およそ10万年前に生み出して以来、世界の広範な地域で使用されているビーズ。人とのかかわりは「つなぐ」「みせる」「かざる」の三つに大別されます。その素材やかざり方は、文化や自然環境によってさまざまで、諸民族のあいだでは、儀礼に使い、社会的地位や民族のアイデンティティを示すなど、大きな役割を果たしてきました。地球に暮らす人びとの多様な営みを、ビーズをとおしてさぐってみましょう。
※講演会終了後に講師の案内のもと、特別展見学会をおこないます(40分)。

第466回　5月6日(土)13時30分～14時40分
第二言語としての日本手話――実感・体感的手話言語案内
講師　飯泉菜穂子(本館 特任准教授)
※講演会終了後、講師を囲んで懇談会をおこないます(40分)。

東京講演会

第118回　5月13日(土)13時30分～14時40分
【第89回民族学研修の旅関連】
モンゴル高原における遊牧民の遺産
講師　小長谷有紀(人間文化研究機構理事、本館 教授)
会場　モンベル御徒町店4Fサロン
※講演会終了後、講師を囲んで懇談会をおこないます(40分)。
※要事前申込(定員60名)、会員無料、一般500円

第89回民族学研修の旅
モンゴル、遊牧の民に出会う――揺籃の地オルホン川上流域と草原都市ウランバートルを訪ねる
8月7日(月)～8月14日(月)　8日間